

2025
3月号

福岡地区労連

発行：福岡地区労働組合総連合
〒812-0016
福岡市博多区博多駅南1-9-8
ケイ・アイビル2F
TEL 092-433-3338
FAX 092-433-3535
Mail : fukuciku@gmail.com



(HPはこちら)

〈私たちの25春闘〉

物価高騰対策は労働者の賃上げから

トラックパレードの参加者たち

トラックパレードに向けて
激励する内田事務局長トラックパレード開始!!
多の津公園からトラックが
続々と出発福岡空港を背に
トラックの大作進終点の多の津公園に向けて粕屋町の
扇橋前をトラックパレードが通過

(2025年国民春闘勝利・
福岡トラックパレード)
**労働条件・
地位向上・
安心安全確保を
求めて**



大野城市議会に陳情書の提出

2月24日、全労連・国民春闘共闘は、全国で25春闘地域総行動を展開しました。福岡地区春闘共闘は、地域総行動の取組みとして、議会の意見書採択を進めていきました。3月議会に向けて春日市議会と大野城市議会に陳情を行い、どちらの議会でも議事事務局が対応し、意見書の内容と、どのような進め方がよいのかをレクチャーしていただきました。意見書を採択するためには陳情では通りにくい現状が

あるため、請願か議員提案の方がよいという、いずれかの方法を6月議会に向けて並行して進めることとなりました。大野城市議会では、最大派の自民大野城が3月議会終了後に懇談をすることになっています。

国に対して抜本的な引き上げを要請
25春闘の最低賃金の意見書はこれまでと違い、今すぐ1,500円とし、1,700円をめざすことが記されています。異常な物価高騰に賃金の上昇が追いついておらず、実質賃金が下がり続けることに歯止めをかけるためには、抜本的な最賃の引き上げが不可欠です。そのためには、中小企業が賃金を引き上げられるように、国や自治体の支援策が必要であることも25春闘の意見書のポイントです。最賃引き上げ推進行動は、福岡県労連最賃審議委員会と共同で進めていきます。

〈25春闘 地域総行動〉
**物価高騰対策には
抜本的な最賃引き上げを**

〈福岡医療団労組 Xデモ〉
**医療・介護現場の賃上げは
他産業の半分**

福岡医療団労働組合 書記長 松尾 沙緒理

医労連では、3月13日の産別統一行動日に先がけ、2月28日に「#実は低すぎ看護師給料」「#私たちストライキします」のハッシュタグでXデモをおこないました。当日は全医労のストライキも実施され、たくさんの声が寄せられたようです。また、産別統一行動日である3月13日には全国各地でストライキがおこなわれ、私たち福岡医療団労働組合もこの産別統一行動に決起し、Xデモでは「命に関わる仕事なのに賃金が安すぎる!」「一人手不足で患者さんに寄り添った看護ケアができない!」と多くの声が寄せられました。Xデモでは前日の3月12日夜時点で、各単組支部の「スト決行」投稿が相次ぎ、「#私たちストライキします」が相次ぎ、「#

また、SNS上で影響力をもつインフルエンサーも今回のストライキに言及するYouTubeやTikTokにおいて投稿が多数あったようです。全国で取り組んだストライキ決議では1000以上の事業所からストライキ決議があり、低賃金と労働環境の悪化からケア労働者の離職がとまらず、医療・介護崩壊寸前です。日本医労連はオンライン署名に取り組んでいます。医療・介護崩壊を食い止めるため、みなさんのお力をお貸しください!

私たちがストライキを
実施して欲しい!!
ケア労働者を
応援してください!!
ストライキに
立ち上がります



→オンライン署名
はこちらから

福岡市での戦争準備許さない平和をつくる学習会 労働者が安心して働ける福岡へ

2月15日、天神チクモビルにて『福岡市での戦争準備許さない平和をつくる学習会』が「市民が主人公の福岡市をめざす市民の会」(以下、市民の会)主催で開催されました。



学習会で講演する福岡県平和委員会
代表理事・弁護士の井上顕氏

学習会は、福岡県平和委員会代表理事・弁護士の井上顕氏と福岡市原爆被害者の会会長の中村国利氏より昨年の福岡空港へのオスプレイ飛来、博多港の特定利用港湾選定、軍事利用などの福岡市で進んでいる戦争準備に対して、どうやって平和をつくるのか、その展望を考える学習会でした。

福岡県内での戦争する国づくりの動きも活発化しており、特定利用空港された福岡空港に負傷したアメリカ兵や負傷した自衛隊員が運ばれた際に、福岡空港から自衛隊病院に行っているという危険な道は、やめさせ外交努力を通じて東アジアの平和と安定を築く方向への転換が必要であり、労働者が安心して働ける福岡県を求めます。

(編集委員 松尾)

〈原発ゼロ！3・11福岡集会〉

原発と人類は共存できない



原発ゼロ！3・11福岡集会

原子力発電所3基同時メルトダウンという市場最悪の3・11原発事故で、廃炉が進まないまま14年の月日が経過しました。福岡市・

警固公園では原発ゼロ3・11福岡大会が開催され市民団体や労働組合から約200人が集結しました。

主催者あいさつで実行委員会の工藤逸男氏は「原子力緊急事態宣言は解除されていない。にもかかわらず、自公政権は、地球温暖化や電力の安定供給を口実に原発最大限利用を打ち出している原発と人類は共存できない。」と訴えました。

集会宣言では、今日でも2万5000人の避難生活を余儀なくされていること。震災関連死3800人、小児甲狀腺がん370人と深刻な健康被害があること。汚染水の海洋放出などの実態を訴え、放射線におびえることなく平和で安心して暮らせる社会をともに作って行こうと宣言され、満場の拍手で採択されました。

(編集委員 内田)

〈九州きかんし学校〉 労働組合にとって大切な機関紙活動

自治労連福岡公共一般労組
「うぐいす」編集担当 永富湧子



ZOOMでも参加できるきかんし学校！
ぜひご参加を

2月22日、機関紙協会九州地方本部主催のきかんし学校に参加しました。機関紙が持つ役割、力について見つめ直す良い機会となりました。労働組合の機関紙にとって大切な「新しい情報」「共感」「感動」が疎かになっていないか、身内に向けた「井の中の蛙」の活動になっていないか、国民的な問題に対して広い目で見えた内容になっているかなど、

現状は時間に追われ、内容よりも完成させることで精いっぱいですが、悩みはあるものの、機関紙活動はやりがいがあります。組合を盛り上げる機関紙を追及し、もっと充実した「うぐいす」になるよう頑張ります。

考えさせられることばかりでした。

機関紙の本来の役割は、組合と組合員をつなげる場であり、組合の存在を示すものと思っています。



博多駅筑紫口での宣伝行動

福岡地区春闘共闘は、産別のストライキ支援に参加し、夕方から博多駅筑紫口で宣伝行動を行いました。

この行動では、参加産別が独自のビラやポ

にストライキを背景としたたたかいを3月13日に全国一斉で行いました。

〈25春闘 3・13全国一斉統一行動〉 コメが買えない。 25春闘は抜本的な賃金引き上げを

ケットティッシュを持ち参し、産別ごとの春闘をリレートークで訴えました。

リレートークでは、医療・福祉・保育の産別から医師不足、看護師不足、介護士不足、保育士不足の切実な実態が訴えられいずれの現場でも、賃金が低すぎで働く人が集まらないことから、利用者サービスが低迷し、深刻な影響が出ていると話されました。

労働者の増加、労働条件の悪化から配達員が不足し、郵便事業に影響が出ていると訴えがありました。

また、リレートークでは、コメが買えない、卵や野菜が買えない、ガソリンが買えないなど、生活できない事態になっている。25春闘は抜本的に賃金を引き上げることが重要であると訴えがありました。

この行動には20人が参加しました。各産別では引き続き春闘交渉が繰り広げられます。

(編集委員 内田)

今後のスケジュール

●最賃ビッグアクション宣伝行動
4月9日(水) 18:00

●博多駅筑紫口
●総がかり実行委員会「平和といのちを見つめる福岡大集会」
4月20日(日) 13:00

●新田原グラウンド
●第96回福岡県中央統一メーデー
5月1日(木)

●開場9:30開会10:00
●パレード11:40

●警固公園